**地域密着型サービス運営推進会議記録（第4回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム高砂 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和3年10月12日 |
| 会場 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、文書で報告 |
| 参加者 | 利用者代表 | 0人 |
| 利用者家族代表 | 0人 |
| 地域住民代表 | 1人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 1人 |
| 市職員 | 0人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | １、施設状況について男性1名、女性12名　計13名、平均介護度2.18月16日、入院の為、要介護1の女性9月8日、入院の為、要介護2の女性9月23日、入院の為、要介護3の女性9月25日、他施設へ転居の為、要介護1の女性が退去となる。現在、数件、入所問い合わせあり、検討中である。２、入所者状況について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、面会禁止継続中であり、ベランダの窓越しに面会をしていただいてる。新規感染者数が減少しており、面会解除については状況を見ながら、ロイヤルケアセンターと相談していくこととなる。残暑もきびしく、入所者様には、水分補給や空調の調整、適宜な休息など十分な配慮をさせていただいている。３、行事報告について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアさんの慰問や外出行事は自粛している。室内でできるおやつ作りや季節を感じるレクを行っている。9月23日　敬老会10月4日　運動会　　　折り紙で作ったコスモスの壁画作り４、職員研修報告　8月の勉強会　※事故防止対策委員会　　　　※感染対策委員会　　　　　　　　※認知症委員会　　　　※身体拘束委員会　9月の勉強会　※褥瘡予防対策委員会　　　　※防災対策委員会　　　　　　　　※食事委員会　　　　　※入浴委員会　　　　　　　　※排泄委員会５、身体拘束について　高砂では、原則として身体拘束は行っていない。　身体拘束をやむを得ず行う理由として、徘徊や興奮状態での周囲への　迷惑行為、転倒のおそれのある不安定な歩行や危険な行動を防止する　ために「必要」だといわれることがある。しかし、それらの状況には　必ずその人なりの理由や原因があり、ケアする側の関わり方や環境に　問題があることも少なくない。したがって、その人なりの理由や原因　を徹底的に探って除去するケアが必要であり、そうすれば身体拘束す　る必要もなくなる。　まず基本的なケアを十分に行い、生活のリズムを整えることが重要。　　①起きる。　　　②食べる。　　　③排泄する。　　④清潔にする。　　　⑤活動する。　これらのケアを行う場合には、一人ひとりを見守り、接し、触れ合う　機会を増やし、伝えたくてもうまく伝えられない気持ちやサインを受け　止め、不安や不快、孤独を少しでも緩和していくことが求められる。 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |
|  |  |
|  |